

CASBEE® 名古屋

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル(2019年度版、省エネルギー等環境性能評価システムマニュアル2019) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オープンレジデンス中区栄三丁目 新築工事	階数	地上14F
建設地	名古屋市中区栄三丁目2122番	構造	RC造
用途地域	市街化区域 防火地域	平均居住人員	65 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2022年9月16日
敷地面積	499 m ²	作成者	
建築面積	325 m ²	確認日	2022年9月16日
延床面積	3,767 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE1.0 ★★★★★★☆☆☆☆ ☆: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C	☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 60%: 30% 標準計算 このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.6	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.3
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 熱的侵入の抑制機能が高い住宅であり、窓面のまぶしさへの対策を行うなど暮らしやすい住宅となっている。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 カーテン・庇を組み合わせ、昼光の直射日光が当たる窓面や屋外が高輝度となる窓面のまぶしさの対策を行っている。	Q2 サービス性能 外壁仕上げ材 長い耐用年数のものを使用しており、長く機能維持できる。	Q3 室外環境 (敷地内) 生態系に悪影響を及ぼす外来種を使用せず緑化を行っている。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「S-1 断熱性能等級」における等級4相当であり、熱的侵入の抑制機能が高い住宅であると言える。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能な仕様となっており、部材の再利用の可能性が向上している。	LR3 敷地外環境 建築物における光害対策について、「良い照明環境を得るためのチェックリスト」の一部を満たし、広告物照明を行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)オープンレジデンシア中区栄三丁目 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.5
LR1	エネルギー	3.7	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上			
3. 循環型社会				3.2
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.5



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.2



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。